

# 令和3年度当初予算の あらまし

令和3年第1回市議会定例会で、令和3年度当初予算が審議・可決されました。本年度の一般会計予算は488億9,862万円。前年度当初予算比で1.5%の増加となっています。「コロナ乗り越え 安全・安心、経済再生加速化2021予算～未来につながる～ 住みたい、住み続けたい 笑顔の花咲く温か都市 イーハトーブはなまきへ」を掲げて編成した本年度予算についてお知らせします。

## 令和3年度予算の概要

### ■歳入について

自主財源の柱である市税は、新型コロナウイルス感染症の影響による固定資産税の減免や入湯税の減少などにより、全体で前年度比4.7%の減少を見込んでいます。一方、寄附金は、令和2年度の「イーハトーブ花巻応援寄附金」の寄付状況を踏まえ、前年度比15.0%の増加を見込んでいます。

依存財源で代表的な地方交付税は、前年度比1.9%の増加。地方特例交付金は、固定資産税の減免による減収補填特別交付金の計上などにより、前年度比34.9%の増加を見込んでいます。国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金や地方創生臨時交付金の計上などにより、前年度比19.7%の増加。市債については、若葉学童クラブ施設整備事業を計上したほか、後年度に国が全額負担する臨時財政対策債の大幅増により、前年度比4.1%の増加が見込まれますが、市が独自に発行する市債は前年と比べ16.3%の減少となります。

### ■歳出について

義務的経費は、会計年度任用職員に対する期末手当の増加などにより、人件費で前年度比0.6%増加。子どものための教育・保育給付費などの増加により、扶助費で前年度比1.8%の増加を見込んでいます。

投資的経費は、二枚橋地区産業用地整備や道の駅「はなまき西南」整備、消防はしご自動車更新の完了などにより、前年度比19.9%の減少を見込んでいます。その他の経費のうち物件費は、新型コロナウイルスワクチンの接種業務委託や、ふるさと納税に係る郵送料・手数料の増加に伴い前年度比11.6%の増加。補助費等は、温泉宿泊施設等利用促進事業補助金や、ふるさと納税の返礼品の増加などにより、11.1%の増加を見込んでいます。

## 令和3年度予算の特徴(抜粋)

- ① 新型コロナウイルス感染症対応 市民の生命・くらし・経済対策 事業者に対する支援 Pay Pay(ペイペイ)を活用したポイントキャンペーンの実施
- ② 新型コロナウイルス感染症対応 市民の生命・くらし・経済対策
- ③ インフラなどの整備 着実な継続事業の進捗
- ④ 安心できる暮らし環境の充実 公共交通の充実 医療を受けやすく

40週以降に妊婦健康診査が必要とされる人に15回目の健康診査費用を助成。多胎妊娠の場合は健康診査支援として、さらに5回の健康診査費用を一部助成します。特定不妊治療への助成については、事実婚関係にある夫婦と男性不妊治療を対象に追加します。

保育環境の充実・就学支援 保育士不足を解消するため、私立保育園などの保育士に対する再就職支援貸付や保育料の減免・補助、奨学金返済支援補助を引き続き実施します。保育環境においては、安全・安心で快適な環境を創出するため、私立保育園などのAED整備を引き続き支援。さらに、門扉やフェンスなど外構の設置・修繕、非常通報装置などの整備を推進し、緊急時の安全確保と防犯対策の強化を図ります。

仮移転中の花巻学童クラブは、同学区内のひまわり学童クラブと統合し、若葉学童クラブとして若葉小学校敷地内に整備します。返還免除型奨学金「はなまき夢応援奨学金」は、対象者に日本学生支援機構給付奨学金採択者を追加するほか、同奨学金との併用ができるよう制度を拡充します。

着実な継続事業の進捗 道の駅「石鳥谷」の施設再編に向け、南部杜氏伝承館・酒匠館・りんどろ亭食堂の改修を継続するほか、広場の整備工事に着手します。国道4号花巻・北上間の拡幅実現に向け、引き続き県・近隣市町と共に国へ要望。さらに、(仮称)花巻P.A.スマートインターチェンジ整備の事業進捗を図るため、令和2年度補正予算と一体で市道山の神・諏訪線の道路改良や用地買収を進めるとともに、埋蔵文化財調査と一部工事に着手します。

新たな事業の推進 (仮称)花巻P.A.スマートインターチェンジ整備を見据え、花南地区における産業団地の整備を検討。基本設計・測量調査費用などを計上します。老朽化が進んでいる桜台小学校の校舎については、学校施設長寿

命化計画に基づき、長寿命化改修に向けた実施設計に着手します。

公共交通の充実 市街地循環バスや予約乗合バスの運行費補助などにより、高齢者・若年者など交通手段を持たない市民の交通手段の確保を図ります。さらに、路線バスや予約応答型乗合交通の乗り継ぎ拠点のイトーヨーカドーバスターミナル内に待合所を整備します。

また、交通手段が不足している地域に居住し、医療機関までの距離が遠く交通費の負担が大きい重度障がい者の交通費を新たに助成します。

生活基盤の充実 住宅の安定確保 快適な住環境の形成を推進するため、適正な道路幅員を確保するなどの優良な宅地開発に対する補助制度を創設。さらに、空き家により阻害されていた景観や住環境を改善し、街の新陳代謝を図るため、空き家を解体して住宅などを新築した場合の費用を補助する制度を創設します。

や家賃補助、温泉宿泊施設等の利助成などを令和2年度に引き続き実施します。

市民に対する支援 緊急小口資金や総合支援資金貸付金(社会福祉協議会が実施)の利用者に対し貸付金の4割の支援金を給付する事業や、就学援助世帯へ1人当たり5万円を給付する事業を令和2年度に引き続き実施します。

感染症予防対策 地域や学校、保育園などへの感染症予防対策物品費を計上します。

ワクチン接種経費 令和2年度補正予算に計上したワクチン接種準備費用に加え、ワクチン接種に当たる医師などに支払う費用を含む経費を計上します。

② 将来世代を育む 子育て支援を強力に推進 母子保健の推進 産後ケア事業の開設日数を増やし、訪問型は産後1年まで利用できるよう期間を延長します。妊婦一般健康診査については、

妊婦一般健康診査については、

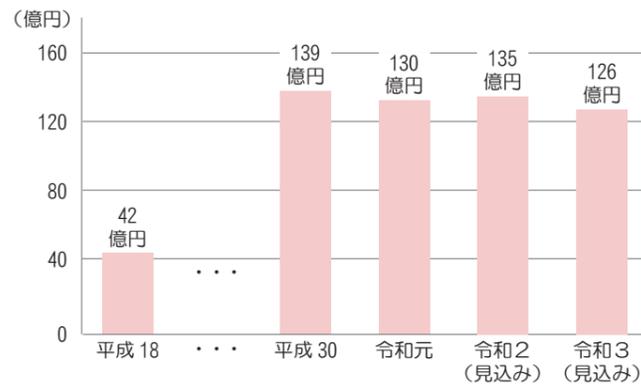
仮移転中の花巻学童クラブは、同学区内のひまわり学童クラブと統合し、若葉学童クラブとして若葉小学校敷地内に整備します。返還免除型奨学金「はなまき夢応援奨学金」は、対象者に日本学生支援機構給付奨学金採択者を追加するほか、同奨学金との併用が

老朽化が進んでいる桜台小学校の校舎については、学校施設長寿

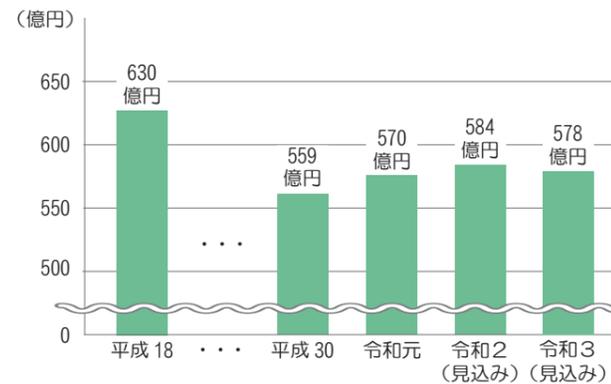
制度を創設します。

■主な基金(貯金)年度末現在高の推移

※財政調整基金、減債基金、まちづくり基金の合計額



■一般会計における地方債(借金)年度末現在高の推移



■一般会計の市債残高と実質的将来負担額

(単位:万円)

区分	3年度	2年度	増減額
市債現在高(年度末見込み額)	578億2,084	583億5,810	△5億3,726
うち実質的将来負担額	141億9,776	151億1,936	△9億2,160

※3年度の市債残高見込み578億2,084万円のうち、後年度に国の地方交付税で措置される額424億7,496万円(見込み)と民間企業から市に返還される地域総合整備資金貸付事業債11億4,812万円を差し引いた、実質的な本市の将来負担額は、141億9,776万円(前年度比9億2,160万円減)となります



■令和3年度各会計予算の総括表

(単位:万円、%)

区分	3年度 予算額	2年度 予算額	増減額	増減率	3年度末 市債残高 見込み	2年度末 市債残高 見込み	増減額	
一般会計	488億9,862	481億8,800	7億1,062	1.5	578億2,084	583億5,810	△5億3,726	
特別会計	国民健康保険	82億4,504	84億5,816	△2億1,312	△2.5	—	—	
	後期高齢者医療	21億6,588	21億2,135	4,453	2.1	—	—	
	介護保険	107億3,874	105億7,229	1億6,645	1.6	—	—	
	公設地方卸売市場	3,345	6,735	△3,390	△50.3	1億5,359	1億6,025	△666
	合計	700億8,173	694億715	6億7,458	1.0	579億7,443	585億1,835	△5億4,392

■下水道事業会計(公営企業会計)

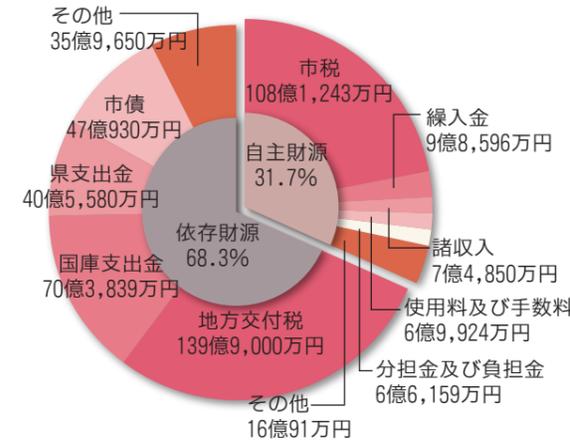
(単位:万円)

区分	収益的収支		資本的収支		3年度末 市債残高 見込み
	収入	支出	収入	支出	
公共下水道事業	25億209	24億3,362	12億202	23億1,426	372億8,072
農業集落排水事業	9億64	9億1,100	6億7,044	11億620	
戸別浄化槽事業	1億5,682	1億8,450	44	2,902	
合計	35億5,955	35億2,912	18億7,290	34億4,948	

◆収益的収支とは  
下水道料金を主な財源として、施設の維持管理や借入利息返済などを行います。

◆資本的収支とは  
企業債などを主な財源として、施設の建設や更新などを行います。

歳入



【歳入予算額内訳】

(単位:万円)

項目	予算額	構成比	増減率
市税	108億1,243	22.1%	△4.7%
繰入金	9億8,596	2.0%	△26.9%
諸収入	7億4,850	1.5%	△15.4%
使用料及び手数料	6億9,924	1.4%	△0.8%
分担金及び負担金	6億6,159	1.4%	△2.1%
寄附金	15億	3.1%	150.0%
財産収入	1億91	0.2%	△77.3%
小計	155億863	31.7%	△3.1%
地方交付税	139億9,000	28.6%	1.9%
国庫支出金	70億3,839	14.4%	19.7%
県支出金	40億5,580	8.3%	△12.6%
市債	47億930	9.6%	4.1%
地方消費税交付金	22億6,500	4.6%	0.2%
地方譲与税	8億2,218	1.7%	△10.4%
地方特例交付金	3億3,010	0.7%	349.1%
法人事業税交付金	7,442	0.2%	58.3%
環境性能割交付金	3,930	0.1%	△5.5%
配当割交付金	2,050	0.1%	△6.8%
株式等譲渡所得割交付金	1,210	0.0%	△16.0%
交通安全対策特別交付金	1,440	0.0%	10.8%
ゴルフ場利用税交付金	1,120	0.0%	0.9%
利子割交付金	730	0.0%	15.9%
小計	333億8,999	68.3%	3.8%
合計	488億9,862	100.0%	1.5%

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致しない場合があります

用語解説(歳入関係)  
▶自主財源・依存財源/市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源が「自主財源」。地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源と借入金が「依存財源」。▶地方交付税/市の行政需要と財政力に応じて、国から交付されるお金▶国庫支出金・県支出金/事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金▶市債/事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金

歳出

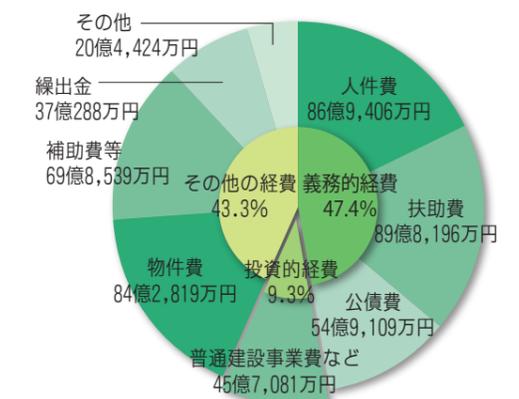
【歳出予算額内訳】

(単位:万円)

項目	予算額	構成比	増減率
人件費	86億9,406	17.8%	0.6%
扶助費	89億8,196	18.4%	1.8%
公債費	54億9,109	11.2%	3.5%
元金	52億4,656	10.7%	3.9%
利子	2億4,453	0.5%	△4.4%
小計	231億6,711	47.4%	1.8%
普通建設事業費	45億6,881	9.3%	△19.9%
災害復旧事業費	200	0.0%	0.0%
小計	45億7,081	9.3%	△19.9%
物件費	84億2,819	17.2%	11.6%
補助費等	69億8,539	14.3%	11.1%
繰入金	37億288	7.6%	1.9%
投資及び出資貸付金	9億6,818	2.0%	△19.5%
維持補修費	10億1,232	2.1%	4.3%
積立金	2,374	0.0%	△7.8%
予備費	4,000	0.1%	0.0%
小計	211億6,070	43.3%	7.3%
合計	488億9,862	100.0%	1.5%

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致しない場合があります

\*性質別歳出  
歳出の経費を人件費や普通建設事業費、物件費など経済的性質で分類したものが性質別歳出です。このほかに、農林水産業費や教育費など行政目的で分類した目的別歳出があります。



用語解説(歳出関係)  
▶義務的経費/人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費▶投資的経費/道路や学校など、将来的に残るものに対する経費▶扶助費/社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費▶公債費/過去に借りたお金を返すための経費▶物件費/施設の光熱水費や各種委託料などの経費▶繰入金/一般会計から特別会計へ支出する経費▶補助費等/事務組合や各種公益団体に対する補助金などの経費

**暮らし** 自然豊かな地域で共に支え、誰もが安心して、いきいきと快適に暮らすまち

政策	事業名	予算額	内容
生活基盤の充実	花巻スマートインターチェンジ整備事業	2,586万円	高速道路の利便性の向上と、産業の振興などを図るため、東北縦貫自動車道花巻パーキングエリアにスマートインターチェンジを整備します。
	公共交通確保対策事業 《一部新規》	1億8,311万円	快適で便利かつ持続可能な公共交通サービスを提供するため、コミュニティバスを運行するほか、民間路線バスへの補助などを実施。さらに、路線バスや予約応答型乗合交通の利用促進を図るとともに、交通結節点のイトーヨーカドーバス停留所に待合所を整備します。
	民間宅地開発支援事業 《新規》	700万円	優良な宅地開発を推進し、快適な居住環境の形成を図るため、宅地開発に係る経費を補助します。
	空家等対策事業 《一部新規》	920万円	管理が不十分な状態の空き家などが周辺地域へ影響を及ぼさないよう対策するとともに、空き家の所有者などの相談に応え、指導・支援を実施。さらに、空き家・空き店舗を解体し、住宅などを新築する場合の費用を補助します。
福祉の充実	障がい者地域生活支援事業《一部新規》	1億3,415万円	障がい者が自立した日常生活を営めるように支援するため、各種障がい福祉サービスを提供。さらに、交通手段が不足している地域に居住し、医療機関までの距離が遠く交通費の負担が大きい重度障がい者の交通費を助成します。
健康づくりの推進	母子保健事業《一部拡充》	1億1,802万円	安全安心な妊娠・出産を迎え、子どもの心身に健全な成長と発達を支援するため、健康診査・健康教室、相談支援などを実施。さらに、産後ケア事業の開設日を毎月2日間増やし、産前・産後サポート事業の実施回数を月2回から3回に拡充します。
	特定不妊治療費助成事業《拡充》	803万円	特定不妊治療を受けやすい環境づくりを推進するため、経済的負担を軽減。事実婚関係にある夫婦と男性不妊治療を対象に追加します。

**しごと** 仕事いっぱい、雇用がいっぱい、活力に満ちたまち

政策	事業名	予算額	内容
農林業の振興	有害鳥獣被害対策事業 《一部拡充・新規》	2,325万円	農林産物や人身に被害を及ぼす鳥獣の対策のため、電気柵の設置に対する補助を行うほか、クマ出没に対応したパトロール体制と有害鳥獣の地域内防除の指導を行う専門職員を配置。さらに、鳥獣被害対策実施隊を増員し、捕獲・監視用機材を整備するほか、ニホンジカやイノシシの捕獲に対する補助金を交付します。
商業の振興	商店街賑わいづくり事業 《一部拡充》	1億2,701万円	商店街のにぎわい創出のため、中小企業などの支援団体やにぎわいづくりイベントへの補助、新規出店者への創業支援などを実施。さらに「まちの駅いしどりや酒蔵交流館」の再整備を行います。 ※地方創生拠点整備交付金が国の補正予算で認められたため、一部を令和2年度予算に前倒しました
観光の振興	道の駅「石鳥谷」施設再編事業	1億3,982万円	道の駅「石鳥谷」の魅力や利便性の向上を図るため、施設を再編。酒匠館の内装等改修工事や、りんどう亭大食堂の屋根塗装等工事、広場の工事、北側道路の設置工事を行います。
	東北デスティネーションキャンペーン推進事業 《新規》	525万円	東北6県で行われる大型の観光キャンペーンの実施に合わせ、宮沢賢治記念館で「雨二モマケズ」手帳を公開。さらに、「八幡田んぼアート」に「東北DC」の文字を追加するなどして、誘客促進を図ります。
農工商観連携の推進	企業誘致推進事業 《一部拡充・新規》	1億4,488万円	新規企業の立地および円滑な企業活動のため、企業誘致活動や立地企業支援、工業団地などの緑地保全を実施。さらに、新規事業創出基盤施設を卒業し、市内に立地する企業に対し支援します。



令和3年度  
主要事業を紹介します

令和3年度当初予算に示した主な事業を「人づくり」「地域づくり」「暮らし」「しごと」の四つの分野ごとに紹介します。

**人づくり** 郷土を愛し、丈夫な体と深い知性を持つ心豊かな市民が育つまち

政策	事業名	予算額	内容
子育て環境の充実	放課後児童支援事業 《一部拡充》	2億9,938万円	児童の健全育成を図るため、放課後や長期休暇などでの安心安全な居場所づくりと地域との交流を促進。さらに、市単独で行っている保育料の減免について、新たに要保護・準要保護世帯と障がい児世帯を対象に追加するほか、多子世帯の減免基準を拡充します。
	児童福祉施設等緊急時安全確保対策事業	180万円	緊急時の安全確保のため、児童福祉施設などが購入するAED(自動体外式除細動器)の費用を支援します。
	学童クラブ施設整備事業 《新規》	2億3,257万円	学童クラブの適正な保育環境を確保するため、花巻学童クラブとひまわり学童クラブを統合し、新たに若葉学童クラブが使用する施設を整備します。
学校教育の充実	保育施設環境整備支援事業 《一部新規》	5,316万円	適正な保育環境整備を支援するため、ぴっころ保育園の幼保連携型認定こども園移り施設整備費を補助。さらに、防犯対策に取り組む保育所に対し、外構や非常通報装置などの整備費を補助します。
	はなまき夢応援奨学金事業 《拡充》	1,176万円	経済的な事情により就学が困難な人を支援するため、返還免除のある奨学金制度を実施。対象者に日本学生支援機構給付奨学金採択者を追加するほか、同奨学金との併用ができるよう制度を拡充します。

**地域づくり** すべての市民が手と心をつなぐ、個性あふれる自立したまち

政策	事業名	予算額	内容
地域主体のまちづくり	移住・定住促進等対策事業 《一部新規》	1,208万円	本市への移住・定住を促進するため、移住者に対する情報提供環境を整備し支援制度を充実させるほか、ワーケーションやテレワーク、サテライトオフィスなどのニーズ把握と調査・分析を実施します。
	婚活支援団体育成事業 《一部新規》	348万円	出会いの場の提供と結婚活動の応援のため、婚活支援団体の活動を支援。さらに、市内の新婚世帯に対し、引っ越し費用などを補助します。